

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	子どもの支援・相談スペース設置・運営事業
事業主体 (連絡先)	松本市 (松本市役所 こども部 こども育成課 TEL0263-34-3261)
事業区分	(2) 保健、医療、福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,920,000 円 (うち支援金 : 597,000 円)

事業内容

子どもの支援・相談スペース「はぐルッポ」は、さまざまな事情で学校に通うことができない、引きこもりがちになっている子どもたちに居場所や気軽に相談できる場所を提供し、子どもたちが自ら一歩を踏み出すためのエネルギーを育むことができる場所として、平成25年5月1日に開所しました。

この施設では、自由に過ごし交流できる場の他に、ボランティア指導員による学習サポート、子どもや親の悩みに対する相談、子育て支援に関する情報提供などを行っています。夏にはデイキャンプ、冬にはクリスマス会などのイベントも行います。



【施設内の様子】

【目標・ねらい】

- ①引きこもりがちな子どもへの居場所の提供(学校への復帰を目標とするものではない)
- ②子どもの学習意欲の向上
- ③子どもや親の心の悩みの軽減
- ④子ども自らが外へ一歩踏み出す意識の向上

事業効果

子どもたちは、勉強や読書、オルガンなど、思い思いのことをしながら時を過ごす中で、好きなことを見つけたり、何かを達成することなどにより自信を取り戻しています。次に一例を示します。

Aさん「いじめなどによる精神的不安から月単位の長期にわたり学校を休んでいましたが、現場の声に励まされ、週1回ずつでも学校に足が向くようになった。その都度、スタッフに力をもらっている。嬉しい。」

Bさん：親「不登校に悩む子どもとともに、自らも対応策がわからず負のスパイラルに悩む日が続いた。わらをもつかむ思いではぐるっぽに駆け込んだところ、スタッフの皆様に本当に暖かく迎えられた。母子ともに支援の言葉と温かい雰囲気になされている。」

※自己評価【 A 】

【理由】

事業の周知と理解が進み、利用者が増加した。

今後の取り組み

新たな通所者も増え、開所日数の増加を望む声が聞かれるため、H26から開所日数を週1日から週2日に増やした。まだまだ要望に応えきれていないため、更なる開設日増を目指したい。

また、子どもの職業体験など新規事業を開始し、併せて通所経験者のボランティアスタッフとしての参加を促し、同じ思いを共有できる環境を整えるとともに、そのことを通して通所経験者を含め、皆が更にステップアップするための施策を実施していきたいと考えています。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある